

おらんど

JA全農えひめ情報

2019

6 - 7
Jun. Jul.

■特集

令和元年度「農家手取り最大化プロジェクト」



美味絶賛



「さといも「伊予美人」」②

Oyakii おやきー



▲伊予美人、ゴボウ、人参、ほうれん草、カボチャ、それぞれの味が楽しめるOyakiiは、しっとり、さつくりとした一口サイズのかわいい焼き菓子



▲飽くなき探求心で、大和屋本店のブランド力に応える越智パティシェ

有限会社大和屋本店旅館

住所 松山市道後湯之町20-8
TEL 089-935-8880
設立 1868年(慶応4年)
代表者 代表取締役 奥村 敏仁

松山ブランド新製品コンテスト「NEXT ONE」で松山商工会議所会頭賞受賞、JAL国内線ファーストクラスの機内食デザートや大手百貨店の中元となり、愛媛から全国へと認知度を高めています。

さといも「伊予美人」は JA全農えひめの登録商標です！

「伊予美人」は県が選抜育成したさといも「愛媛農試V2号」の商標。白くてきめ細かな肉質、丸々とした整った形から命名。さといも本来の粘りが強く、濃厚な甘みがある。

老舗旅館・大和屋本店オリジナルの『大和屋ベジスイーツ Oyakii おやきー』は、先代社長(現会長)保樹氏が「150年間、松山・道後で旅館業を続けてこられたのは地元の人々の恩恵あればこそ。恩返しはできないだろうか」の思案がきっかけです。

道後の土産菓子作りは職人になった時から夢だったという越智パティシェとタイアップし美味を探る中で大洲の伝統野菜・大洲芋^{おうち芋}に出合います。そこから県内産野菜5種の洋菓子へ方向性が決まります。「食して素材の分かる洋菓子」という高いハードルに、白餡ベースの野菜ピューレ餡を考案。生地も素材や形に始まり、餡と包む生地の水分量の違いで成形に苦心するなど2年の時を経て2012年、発売にこぎつけます。

昨年の豪雨災害で大洲芋の入手が困難となり、「おいしい」にこだわる代替え野菜を探し、里芋の旨みと甘みがしつかりとして、粘りのある伊予美人にたどり着きます。しっとりとした食感にやさしい甘さが調和した伊予美人Oyakiiはクオリティの高い逸品としてラインナップされました。

あぐり〜ど

2019年6－7月号

CONTENTS

全農グループの経営理念

私たち全農グループは、
生産者と消費者を安心して結ぶ
懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

今月の表紙



洗濯日和の好天気。大物のシーツを洗って、布団を干してと、忙しく働くお母さん。子どもたちも休みの日はうれしくて、朝早くから鬼ごっこやかくれんぼ。洗濯したばかりの真っ白いシーツに隠れているのはだ〜れだ？ 見つかったら、お母さんが赤鬼さんになっちゃうぞ！シーツの間をなにくわぬ顔した初夏の風が通り抜けていきます。

●表紙：洗濯物かくれんぼ
はら ふみ(イラストレーター)

※『あぐり〜ど』は、「愛媛農業 (Agriculture)」を「リード (Lead) する」という意味と「心をつなげる (Agreed)」という意味を込めています。

農の風景Vol.210

美味絶賛～さといも「伊予美人」～②
(有)大和屋本店旅館

2

〈特集〉

令和元年度「農家手取り最大化プロジェクト」

生産・販売・購買事業一体となり、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に向けて実践していきます！

6

トピックス

9

THE・ねっとわーく

10

ふるさと ESSAY VOL.278

私、牛農家になります！

高月 千賀さん

12

TOPIC NEWS

16

READERS通信

NOW NOW COOKING

〈今月の素材〉ミニトマト

JA全農えひめ

ホームページ
<http://www.eh.zennoh.or.jp>



■JA全農えひめ「えひめの食」企画

<http://www.eh.zennoh.or.jp/ehimenosyoku/>

※「えひめの食」では、旬の農産物情報を発信しています。

◆(株)えひめ飲料

<http://www.ehime-inryo.co.jp>

◆JAえひめアイパックス(株)

<http://www.iyokkora.jp/>

◆JAえひめフレッシュフーズ(株)

<http://fresh-ranran.jp/>

◆(株)ひめライス

<http://www.himerice.jp/>

◆JAえひめエネルギー(株)

<http://www.ja-ehimeene.co.jp>

◆JAえひめ物流(株)

<http://www.jat-ehime.co.jp/>

生産・販売・購買事業一体
となり、「農業者の所得増大」
「農業生産の拡大」に向けて
実践していきます！

J A全農えひめでは、平成28年度から平成30年度まで「農業者所得増大チャレンジ事業」に取り組みました。この3年間の実証結果を基に、令和元年度から令和3年度までの3年間、新たに「農家手取り最大化プロジェクト」を展開します。J Aグループ愛媛の創造的自己改革実践における「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」を目指します。

販売事業の確立」「生産トータルコストの低減」「営農・経済事業の機能・体制強化」を具現化します。さらに、スマート農業など新技術を活用した営農支援と地域実情に沿った多様な労働力支援体制の確立など、J A・農業者への支援対策や県域機能の強化によるJ A事業の補完・支援に取り組んでいきます。

重点施策として「マーケットイン（実需者ニーズ）に基づく生産・

生産トータルコスト低減

〈生産流通コスト引き下げ〉

- 銘柄集約・担い手直送など価格メリット創出と弾力的価格設定
- 低コスト資材・農機の普及
- 集出荷体制の効率化、広域物流・広域選果体制の確立

〈生産性の向上〉

- 収量・品質向上・省力化技術・資材の普及
- 土壌診断に基づく適正施肥

【農機課】

- 重点型式早期推進、中古農機販売促進・整備強化
- 大型農機格納点検促進
- 作物別機械化一貫体系の提案、デモ機による実演

【段ボール工場】

- 予約精度向上によるコスト低減対策
- 販売対策に応じた適正包装化、規格集約提案
- 生産流通課題に応じた新規資材提案

【営農支援課】

- 部門間、関係機関連携による生産振興支援
- TAC活動によるJ A、担い手への対応強化

耕種事業概念図（農家手取り）

JAグループ愛媛の創造的自己改革

生産・販売・購買一体となった総合実践メニュー

マーケットインに基づく生産・
販売事業の確立

〈生産振興・産地づくり〉

- 農地のフル活用
- 重点品目の生産拡大
- 業務用など需要に基づく生産
- GAP手法の啓発

〈販売事業の強化〉

- 買取・直販・企画販売ならびに
共販量の拡大
- 知財活用による高付加価値化

農家手取り最大化

農業生産拡大

営農・経済事業の機能・体制強化

〈TAC活動の強化〉

- JATAC活動の活性化支援
 - 各部門・連合会との連携による
県域での訪問活動の強化
 - TAC・営農指導員の人材育成
- 〈県域担い手サポートセンター〉
- 担い手の確保・育成支援
(就農相談会の開催)
 - 労働力支援対策

重点取組事項

(品目別プロジェクトテーマ)

【食糧生産課】 ひめの凜・あきだわら・ハルヒメボシ

- 水田面積の維持・拡大と需要に応じた作付推進
- 事前契約の拡大・集荷拡大対策
- 収量・品質向上対策

【果実課】 温州みかん・伊予柑・キウイフルーツ

- モデル園設置による土壌改善及び品質・反収向上
対策／○適期防除推進／○企画販売、ギフト、輸出
推進

【野菜花卉課】 きゅうり・いちご

- 生産基盤の強化／○集出荷体制・流通効率化
- 加工・業務用販路拡大／○出荷調整作業省力化

【肥料農薬課】

- 銘柄集約・予約結集・大型規格によるコスト低減
- 肥料満車・農薬担い手直送規格の普及拡大
- 土壌診断に基づく適正施肥指導
- 中四国広域農薬物流センターを活用した物流体制整備
- 無人航空機(ヘリ・ドローン)散布による労働力支援
- 施肥・防除・生産資材の普及実証及び講習会開催
- 規格型低コストハウスの導入

重点施策

マーケットイン(実需者ニーズ)に基づく生産・販売事業の確立

生産振興・産地づくり

- ① 水田活用米穀、転作・裏作野菜等水田フル活用の促進
- ② 最重要品目(ビジネスモデル)の生産拡大
- ③ 多様な実需者ニーズに基づく新規振興作物(新品種・多収穫米、加工・業務用野菜等)の普及・拡大と産地づくり
- ④ 持続可能な農業経営(安全安心・環境保全・労働安全)の実現に向けたGAP手法の啓発

販売事業の強化

- ① 契約取引等(買取・直販・企画販売)ならびに共販量の拡大
- ② 実需に応じた生産および集荷量の維持・拡大
- ③ 生産流通体制の効率化
- ④ 県産農産物のPR活動強化による消費拡大対策

生産トータルコストの低減

生産流通コストの引き下げ対策

- ① 銘柄集約による価格引き下げ
- ② 大型規格農産、ジェネリック農産および農産担い手直送規格の普及拡大
- ③ 低コスト資材の普及拡大
- ④ 共同購入農機推進強化、安価な農機の取扱い拡充、適正包装資材化の取り組み強化
- ⑤ 広域物流体制の再構築、広域選果体制の構築

生産性の向上

- ① 生産性向上に貢献する資材の導入および技術試験実施による収量・品質技術の向上

無人航空機(ヘリ・ドローン)や農業ICTなど革新的技術の導入

農家手取り最大化実践メニューの総合的な実証

耕種部門一体となった「物財費削減」「労働費削減」「生産性向上」「販売対策」に向けた実践具体策の実践とJAおよび農業者への水平展開。

表1 品目別重点取組目標

米 麦

項 目	2017年度(平成29年度)	2018年度(平成30年度)	2018年度(平成30年度)	2021年度(令和3年度)	備 考
	実 績	計 画	見通し	計 画	
作 付 面 積 の 維 持	米13,900ha 麦 1,987ha	米14,527ha 麦 2,000ha	米13,900ha 麦 2,030ha	米14,349ha 麦 2,050ha	
米穀集荷量の拡大	11,531 t	14,000 t	10,000 t	14,000 t	水活除く
事前契約数量の拡大	66.1 t	—	4,324 t	7,000 t	水活除く
【ひめの凜】作付面積	—	—	—	350ha	栽培要件を満たす平坦地
生 産 量	—	—	—	1,890 t	
平均単収	—	—	—	540kg	
【多収穫米】作付面積	13.1ha	50ha	45.9ha	100ha	
集 荷 量	75.4 t	300 t	243.1 t	600 t	
平均単収	563kg	600kg	530kg	600kg以上	
【はだか麦】平均単収 (ハルヒメボシ)	254kg/10a	360kg/10a	260kg/10a	360kg/10a	

果 実

項 目	2017年度(平成29年度)	2018年度(平成30年度)	2018年度(平成30年度)	2021年度(令和3年度)	備 考
	実 績	計 画	見通し	計 画	
販売量の確保(最重要対策品目)					
温 州 み か ん	45,102 t	55,000 t	46,100 t	61,000 t	
伊 予 柑	18,455 t	20,000 t	17,640 t	19,000 t	
キウイフルーツ (ゼスプリゴールド)	4,550 t (550 t)	5,154 t (354 t)	4,000 t (300 t)	4,840 t (140 t)	
〈 重 点 振 興 品 目 〉					
愛媛果試第28号	2,411 t	2,100 t	2,390 t	2,800 t	
甘 平	1,577 t	1,700 t	1,480 t	1,700 t	

野 菜

項 目	2017年度(平成29年度)	2018年度(平成30年度)	2018年度(平成30年度)	2021年度(令和3年度)	備 考
	実 績	計 画	見通し	計 画	
重点振興品目※取扱数量	14,949 t	16,792 t	14,662 t	17,729 t	7品目計
き ゅ う り	5,706 t	5,900 t	5,294 t	6,182 t	
い ち ご	865 t	950 t	847 t	957 t	

※重点振興品目: きゅうり、とまと、なす、ピーマン、いちご、里芋、レタスの7品目

営農・経済事業の機能・体制強化

● 関連部門・組織連携によるTAC活動の充実と事業提案力の強化

● 新規就農者確保、育成支援・集落営農組織化・法人化・事業承継・労働力支援体制整備の支援など多様な担い手ニーズへの対応

● 県産農産物の情報発信および付加価値増大支援

支援対策

支援対策要領

● 生産振興・担い手総合支援

① TAC活動を通じた担い手支援対策

② 水稻・麦・大豆収量・品質向上実証ほ設置対策

③ 高品質果実生産支援対策

● 生産資材トータルコスト低減支援

① JA集荷拡大（フレコンバック）

対策

② 肥料・農薬生産基盤強化対策（担い手組織予約・個別予約・土壌診断・肥料担い手直送・農薬大型規格対策）

③ 包装資材結集対策

④ 農ビ・農ポリ加工品・部会予約結集対策

⑤ 農機格納点検整備支援対策

● 県域機能の強化によるJA事業の補完・支援

① 県域担い手サポートセンター連絡協議会活動によるJA総合事業支援

② 行政等関連機関との連携による就農相談会の開催および参画

③ JA域を超えた広域集荷・選果体制確立の支援

推進・企画体制について

● 推進チーム（JA・全農）は、JA営農振興計画に連動した重点品目・県域戦略品目等の生産・販売計画達成に向けた連携強化を図り、JA・全農が一体となり推進の進捗管理が共有化できる体制を構築し、耕種部門一体

となった総合的な実践メニューの実証に取り組む。

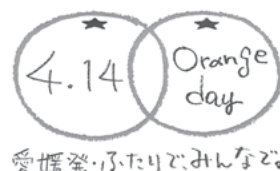
● 県域では「食糧」「果実」「野菜花卉」の推進プロジェクトを設置し、各部門からテーマに沿ったチーム編成のもと、プロジェクトチーム毎にリーダーを選出し、部門間連携を強化しJA・部会に対して生産・販売・購買に関する企画提案と進捗管理を行い、担当課長はプロジェクトの総括を担う。

● 県域TACは、JATAC・県域の品目推進担当者（県域TAC的役割）・他連合会と連携し農業者・地域の担い手に対し事業提案を行うとともに、目標達成に向け関係先との協議・企画・調整を行い、推進チームのサポートを行う。



4月14日＝「オレンジデー」!

あすかのゆ
道後温泉別館飛鳥乃湯泉前と松山空港でイベント開催!



愛媛発・ふたりでみんなと。
4月14日は愛媛発祥の「オレンジデー」です。

大切なあの人に柑橘を贈ろう♡



▲松山空港



▲道後温泉別館飛鳥乃湯泉前



4月14日「オレンジデー」は、愛のシンボルである柑橘類などのオレンジを贈り合って愛を育み、大切な人との絆を深める記念日です。平成6年に愛媛県内の柑橘生産農家が発案したとされ、J A全農えひめが平成21年5月、日本記念日協会に登録した記念日です。

J A全農えひめ果実課は、「オレンジデー」当日、PRイベントとして松山市の道後温泉別館飛鳥乃湯泉前と松山空港到着ロビーで、旬を迎えた愛媛県産「清見タンゴール」を配布しました。

道後温泉別館飛鳥乃湯泉前で サンプリングイベント

4月14日の「オレンジデー」当日、J A全農えひめ果実課は、PRイベントとして松山市の道後温泉別館飛鳥乃湯泉前と松山空港到着ロビーで、旬を迎えた愛媛県産「清見タンゴール」を配布しました。道後でのイベントは昨年続き6回目。J A全農えひめ園芸部の武田孝二部長が、「オレンジデーは『愛を深める日』です。今日お配りする清見を持って帰って、愛する人と一緒に召し上がってください」とあいさつし、愛媛いよかん大使4人とJ A全農えひめ職員が、4月14日にちなんで、県内外



▶首都圏では、販売協力店のべ20店舗でSPレディによる試食宣伝を実施



の方414人に「清見タンゴール」とリーフレットを無料配布しました。

カップルの記念日として 定着を!

松山空港到着ロビーでも、愛媛いよかん大使4人が414人に「清見タンゴール」をプレゼント。思わずプレゼントに受け取った方は大喜びでした。飛鳥乃湯泉前と松山空港のイベントは県内の多くのメディアでも取り上げられ、愛媛いよかん大使は、「オレンジデーがバレンタインデー、ホワイトデーに続くカップルの記念日として定着してほしい」と呼びかけていました。

愛媛さといも広域選果場 稼働！

～さといも「伊予美人」の生産・販売拡大へ～



▲愛媛さといも広域選果場

愛媛県本部は、県特産品さといも「伊予美人」の主力産地である東予地区4JAが参加する広域集出荷施設「愛媛さといも広域選果場」を愛媛県四国中央市に設置し、3月22日から稼働を開始しました。

愛媛県産さといもは、「女早



▲3月18日に行われた竣工式

生」を系統選抜した「愛媛農試V2号」をJAブランド「伊予美人」（全農商標）として販売促進活動を進め、東予地区全域に栽培面積の拡大が進んでいます。一方で、各JAの選果基準の違いから品質・出荷ロットのバラツキ、小規模選果施設での選果対応能力が課題になっており、平成27年度から愛媛県本部と東予地区の5JAが共同選果

モデル事業を開始し、選果基準の統一化やJA間格差の是正などを行ってきました。

このようななか、産地収益力強化支援事業（産地パワーアップ事業）を活用し、さといもの選果・選別・包装機能と直販機能をならびに芋分離・根切り機能を具備した同選果場を設置しました。処理能力は日量35トン、年間約3,000トンの出荷を計画しています。

JA枠を超えた広域選果場として、県東予地域の系統共販率の向上と生産面積の拡大および県本部による生産から販売の一元化をすることにより、生産者の所得向上を目指していきます。



▲3月22日より荷受・選果スタート



J A全農えひめ親子料理教室



えひめの春をぎゅっとつめたおべんとうを作ろう！



▲松山市のおべんとう作家 尾原聖名さん

J A全農えひめとウイークリーえひめリッくは、3月30日、松山市で、地産地消の推進と食農教育の一環として「J A全農えひめ親子料理教室」を開きました。春休み中の小学生とその保護者30組60人が参加しました。

今回は、松山市のおべんとう作家・尾原聖名さんが講師となり、参加者は愛媛県産清見タンゴール、ブランド豚肉「ふれ愛・媛ポーク」や、旬の野菜などを使って、お弁当作りに挑戦しました。参加した篠原彩月さん（小学5年生）は、「お母さんとお弁当を作ったのは初めて。これからは、家でも一緒に作りたい」と素敵な笑顔を見せてくれました。

J A全農えひめ中矢塚管理部長は「今回の教室をきっかけに、県産農畜産物の美味しさを知ってもらい、さらに『食』を通じた親子のコミュニケーションや、毎日いただく食べ物への感謝に繋がってほしい」としています。

当日のレシピはこちらです！

「J A全農えひめ 親子料理教室」から えひめの春をぎゅっとつめた / おべんとうをつくろう！

3月30日（土）、J A全農えひめとウイークリーえひめリッく主催の親子料理教室が開催され、30組の親子がお弁当作りにチャレンジしました。そのレシピを紹介します。

指導／おべんとう作家 尾原聖名



桜えびのピンクとセリのグリーンがご飯に映えてキレイ！

桜えびとセリのご飯

【材料（2人分）】

ご飯※ 300g
桜えび 5g
セリ（刻む） 3本
いりごま（白） 小さじ2
塩 少々

- 炊いたご飯に桜えび、セリ、ごまを加え、ざっくり混ぜる。
- 一度味を見て、塩で味を調える。

ゆで卵1個をシェアして家族のお弁当に

ゆで卵と玉ネギのグラタン

【材料（ゆで卵1個分）】

春玉ネギ 100g
オリーブ油 少々
ゆで卵 1個
バター 小さじ2
小麦粉 小さじ2
牛乳 100cc
しょうゆ 少々
塩・こしょう 各少々

玉ネギをしっかり炒めるのがポイント。樹脂加工のフライパンなら、オリーブ油は入れなくてもOK

- ゆで卵は殻をむき、作りたい個数に合わせて輪切りにする。
- 玉ネギは薄切りにし、オリーブ油であめ色になるまで炒める。
- 2にバターを加え溶かし、小麦粉を加えてしっとりするまで炒める。牛乳を加え、よく混ぜる。ダマになっている場合は、水を少し加えてほぐす。しょうゆ、塩、こしょうで味を調える。
- カップに3を入れ、1のゆで卵をおく。上からも3のソースを少しかけて200℃に温めたオーブンで5分焼く。

オレンジジュースを調味料に使ってさわやかな風味に

豚とアスパラガスのオレンジソテー

【材料（2人分）】

豚肉※（ローススライス） 4枚
塩・こしょう 各少々
アスパラガス※ 4〜6本
米粉 適量
オリーブ油 適量
白ワイン 大さじ1
オレンジジュース（果汁100%） 少々
しょうゆ 各大さじ2

塩麹があれば肉にまぶしておきましょう。肉の固さを軽減し、乳酸菌を摂取できて、腸が元気に。

- 豚肉は塩、こしょうで下味をつける。アスパラガスはさっと塩ゆで（塩は分量外）する。アスパラガスは、豚肉の幅に合わせてカットし、3〜4本の束にして豚肉で巻き、米粉をまぶす。
- オリーブ油少々を入れたフライパンに1を並べ（巻き終わりを下にする）、強火にして軽く表面に焼き色を付ける。
- 焼き色が付いたら、白ワインを回し入れる。アルコールが飛んだら、中火にしてオレンジジュースとしょうゆを加えふたをして3分煮る。
- ふたを開けて3の上下を返し、汁気がなくなったら完成。



※教室では無洗米あらうまい愛媛県産コシヒカリ、紅花卵卵、ふれ愛・媛ポーク、アスパラガス「緑のささやき」、ポンジュース、清見タンゴールを使用しました。

清見の香りと甘みがラバとナイスマッチング！

清見deキャロットラペ

冷蔵庫で3日保存可能。

【材料（作りやすい量）】

ニンジン 200g
塩 小さじ1/2
清見タンゴール※ 1個
レモン汁 小さじ1
オリーブ油 大さじ1
ニンニク（すりおろし） 小さじ1/4
こしょう 少々
パセリ 適宜

- ニンジンは千切りにしてボウルに入れ、塩を合わせて10分おく。
- 清見は皮をむき、果汁をしぼりながら果肉をとる。
- 1の水分をしぼり、2を果汁ごと加え、レモン汁・オリーブ油・ニンニク・こしょうを入れてよく混ぜる。盛りつける時にパセリをふる。



THE

ねつとわーく

「愛媛県産かんきつをPRしていただく
2019愛媛みかん大使を募集」

果実課

J A全農えひめは、「果樹王国えひめ」のみかん・伊予柑キャンペーンをはじめ愛媛県産果実の消費宣伝活動に協力していただく『2019愛媛みかん大使』4人を募集します。みかん大使



▲2018愛媛みかん大使の皆さん

による消費宣伝活動は昭和34年度から実施しており、今回が61回目(61代目)となります。

●応募資格

① 愛媛県内在住の18歳以上(高校生は除く)の元気で明るく好感の持てる方。

② モデルなど特定の会社や団体等と専属契約していない方で、他のコンテストに選出されていない方。

③ 愛媛県産果実の消費宣伝キャンペーン等の活動に必ず参加でき、明朗・快活で表現力豊かな方。
④ 勤務先・学校等の理解と協力が得られ、愛媛みかん大使として年間活動できる方。

●応募方法

① 所定の応募用紙または既存の履歴書等に必要事項を記入のうえ、サービス判程度の上半身の写真を

添えて、応募先まで郵送ください。

② 応募用紙は、県内J A・J A全農えひめ・リジエール松山・各テレビ局・愛媛新聞社・各大学・専門学校の受付等に置いてあります。また、J A全農えひめホームページからも印刷できます。

③ J A全農えひめホームページ「みかん大使募集」ページおよび携帯サイトからも応募できます。※応募書類・写真は返却しません。

●募集期間

① 平成元年6月10日(月)～7月10日(水)(当日消印有効)

●審査方法

① 事前審査(書類審査)

7月23日(火)

② 最終審査(面接審査)

8月8日(木)、リジエール松山で面接審査を行い、4人を選考。

J A全農えひめ、愛媛県果樹同志会、マスコミ関係者らが審査します。

●任命式(8月26日(月))

関係者による任命式を行い、マスコミに発表します。

●副賞ならびにプレゼント

① 愛媛みかん大使(4人)委嘱料20万円を進呈します。

② 最終審査出席者全員

書類審査に合格し最終審査に出席いただいた方には、交通費と愛媛の柑橘ジュースを進呈。

●『愛媛みかん大使』の活動

① 任期

令和元年9月～令和2年8月末

② 活動内容(年間40日程度)

全国各地での表敬訪問、テレビ・各種イベント出演、試食宣伝キャンペーン等への参加(日当・交通費・制服一式を支給)。

●【キャンペーン等スケジュール】

● 11月(みかん)

● 東京・大阪

● 2月(伊予柑)

東京・大阪・北海道他

● 4月

「オレンジデー」関連イベント他

応募先・問い合わせ

〒790-8555

松山市南堀端町2番地3
J A全農えひめ果実課
愛媛みかん大使募集係

☎089-948-5482

【ホームページアドレス】

<http://www.eh.zennoh.or.jp>

私、牛農家になります！

私のいる西予市野村町は畜産業の盛んな町です。家では祖父の代から牛を飼っています。私も幼い頃から祖母の後について牛舎に入り、ミルクを与える手伝いをしたり、牛のいる風景は特別なものではありませんでした。

高校は野村高校の畜産科に進学。畜産科を選んだのは、地元の高校だし、家も畜産をしているからと、無難な進路を選択したに過ぎません。

高校では、牛の世界のミスコンのような品評会・共進会に牛を出品していました。好きな人はどうぞ世話をしてくださいといった感じで、強制的なものではないのですが、なぜか違和感なく（笑）、いろいろと世話をしていました。

高校3年生。さて、その先は？ お菓子好きな私は製菓の学校見学をし

て、進路はほぼ決まり。でも、昔から思っていることがありました。「うちには女の子しかおらん4姉妹。誰かが継がないけん！」。次女の私は、誰かに言われた訳でもなく、湧きあがってくる気持ちがありました。

「私しか、おらんな！」。

決まりかけていた進路を変更。畜産の本場である宮崎農業大学校に進み、卒業、帰郷。地元・野村町の県農林水産研究所畜産研究センターで仕事をしながら学ぶ傍ら、家の仕事を手伝うという生活が始まりました。

職場では私の任される範囲は決まっています。エサやりをしたら仕事はほぼ終わりです。夕方帰宅してから、さらに家でエサやり。当時はまだ手作業で、キャリアーいっぱいのエサをバケツで運ぶしんどい作業に半泣き。「じいちゃ

高月 千賀

TAKATSUKI CHIKA

■プロフィール■

平成4年（1992）4月9日生まれ、西予市野村町出身、在住。平成28年に本格的に就農して3年目の肉用牛を生産する若手女性農家。祖父母、父とともに交雑種約350頭の肥育経営と、繁殖和牛7頭、育成牛2頭の繁殖経営に取り組む。主に繁殖部門、肥育牛の育成を担当。平成29年第36回全農肉牛枝肉共励会（交雑種）最優秀賞一席受賞。平成30年度愛媛県総合畜産共進会の第80回家畜改良共進会・肉用種種牛の部で出品牛「まどか21」が農林水産大臣賞受賞。



▲牛舎の前で。高月牧場には犬1匹、猫2匹、生まれたばかりの子猫1匹も遊ぶ

んばあちゃんは、この作業をずっとやってきた。すごいなあ」。それでも、時には「ばあちゃん、やととってや、お願い」と言って結構休めていました。（機械を導入したのはその後のことです）。

3年前から畜産業一筋です。一日のスケジュールは朝8時から牛舎の清掃、エサやり、牛の体調観察、発情していたら種つけなど。お昼をはさんで、

ボロ出し（ウンチ掃除）や、去勢、除角（角切り）、子牛の移動や、配置図などのノート記載。午後のエサやりは朝以上のボリュームでさらに時間がかります。たっぷりの肉体労働と、こまごまとした用事と。そうこうしているうちに午後6時、終業時刻を迎えます。

デリケートな子牛の観察は特に注意深く、見逃して死なせてしまつてはい

けません。ミルクはしっかり飲んだか、耳が垂れていないか、呼吸が速くないか、声かけに反応が薄くはないか。人間のように会話をしてくれない分、気づいてもらえるのをただ、待っているはずなので。この間は、子牛がウイルス性の風邪を発症、50頭ほどの牛舎で集団感染してしまい、治療に追われ、完治するまで気の抜けない日々が続きました。

仕事範囲も広範囲になり、多岐にわたり、「ちょっとお願い」ももう言えず、春、夏、秋、冬、仕事に従事しています。GWに遠出もできないけれど、混雑する渋滞に巻き込まれずに済むと自分に言い聞かせてみたり。そんなに覚悟をもって就いた就農ではないし、休みたい気持ちもあるけれど、「私の職業は牛飼いい」。これは、あきらめではなくて、他の職業に就く気はないし、自然な形で受け入れています。

畜産後継者を募る野村町にも、もうすぐ牛たちが扇風機で涼む真夏がやってきます。私たち作業者はどのスポーツジムよりも確実にダイエットできる季節です（笑）。



●平成30年度愛媛県果樹同志会大会

集まれ同志の力!! “超” 愛媛ブランドへ



県内果樹生産者で組織する愛媛県果樹同志会は、3月18日、松山市の(株)えひめ飲料本社で「平成30年度愛媛県果樹同志会大会」を開き、次年度の活動方針などを決めました。大会には、同志会員ら関係者約400人が出席しました。

大会では、えひめみかんまつり等コンクール入賞者の表彰、平成30年度の活動報告や情勢報告のほか、大会宣言などが行われました。

活動基本方針では、温州みかんで園地・樹ごとのバラツキが年々増している中で、隔年結果是正防止に取り組むとともに、中晩柑類・落葉果樹類を含め高品質安定生産対策に引き続き取り組みます。さらに、果樹産地構造改革計画の実践と果樹農業好循環形成総合対策事業を有効活用し、優良品目・品種への転換や園地整備など経営基盤強化や、災害からの復旧・復興支援などを確認しました。

また、南予果樹同志会の奥谷篤巳さんが、豪雨災



えひめみかん祭りほ場コンクール
農林水産大臣賞の本田貴久さん
(JAにしうわ)



えひめみかん祭り果実コンクール
農林水産大臣賞の忍那敬一さん
(JAえひめ中央)

害における活動について報告したほか、愛媛県農林水産研究所果樹研究センターみかん研究所の加美豊所長(当時)による「良食味多収栽培と今後期待される新品種『48号』について」と題した講演がありました。

※えひめみかん祭り果実・ほ場コンクールの主な入賞者は前号までに紹介しているため省略します。

●全農杯全日本卓球選手権ホープス・カブ・バンビの部愛媛県予選

全国大会出場をめざし少年少女が熱戦!

7月26日から神戸市で開催される全農杯全日本卓球選手権大会(ホープス・カブ・バンビの部)への出場をめざし、5月12日今治市営中央体育館で、愛媛県予選会が開かれ、少年少女74人が出場しました。

この大会は、県卓球協会が主催する小学生対象の大会では最大規模を誇ります。男女別に小学6年生以下のホープスの部、4年生以下のカブの部、2年生以下のバンビの部の3クラスに分かれ、予選リーグと決勝リーグを戦って、男女各クラス2位以上の選手と特別推薦枠2人を加えた計14人が、全国大会に出場します。

男子カブの部で優勝した月原弘暉さん(常盤HSクラブ)は、3回目の全国大会出場を決めました。「全国大会でも優勝をめざしたい」と副賞を手を力強く

話していました。

JA全農えひめは、参加賞のほか、男女各クラス3位以上の選手に副賞として「えひめみかんいよかんジュース」とひめライス「愛媛県産にこまる」を贈呈しました。



男子カブの部優勝の月原さん(写真左)、と2位の田口晃侑さん(伊予卓研)、3位の武田大雅さん(松山卓球教室)

●第5回「しずく媛」サミット

愛媛生まれの酒米「しずく媛」を飲み比べ

J A全農えひめ、産地 J A、県酒造組合、愛媛県などで構成される愛媛県米麦振興協会は、4月18日、愛媛県で育成された酒造好適米「しずく媛」のサミットを松山市の J A愛媛で開きました。生産者、J A、酒造会社や関係者のほか一般公募で募集した日本酒愛好家も含めて約110人が参加しました。

サミットは平成27年から行い、5回目。「しずく媛」のブランド化と消費拡大を目的に開催しています。きき酒会では、「しずく媛」を使用した16蔵元の新酒が並び、参加者は顔を赤らめながら飲み比べを楽しみました。

また、愛媛県農産園芸課農業革新支援グループの川中聡担当係長が「しずく媛」の生産販売活動を報告しました。今後も新品種・新技術の普及に向けた生産振興や酒育セミナーの開催など、新たな取り組みを行うことを確認しました。

平成30年産「しずく媛」の県内作付面積は、35ヘクタール。生産量は128トンで県内の酒造会社を中心に出荷しています。

平成30年産「しずく媛」優良生産者は次の通り（カッコ内は J A 名）。

【最優秀賞】末光弘和（ひがしうわ）【優秀賞】安藤英利（西条）、佐藤一廣（ひがしうわ）、石田一浩（同）、清水口正敏（同）、片山雄一（同）



「しずく媛」の日本酒を味わう参加者

鶏ふん堆肥無償提供で柑橘被災地支援

がんばろう愛媛！

J Aえひめフレッシュフーズ(株)は、松山市にある直営農場「^{らんらん}卵卵中野ファーム」で作られた鶏ふん堆肥を、平成30年7月の西日本豪雨で被災した柑橘農家に無償で提供しています。

西日本豪雨では、柑橘園地が崩れるなどの被害が発生しました。苗木の定植に必要な鶏ふん堆肥を無償で提供し、被災地農家への支援を行っています。

「J Aグループ愛媛梅雨前線等に伴う大雨災害対策本部」が被災7 J A（対象は J Aおちいまばり、J A松山市、J Aえひめ中央、J A愛媛たいき、J Aにしうわ、J Aひがしうわ、J Aえひめ南）へ呼びかけました。現在、各 J A・支所に約2万袋を J Aえひめ物流(株)が無償で配布しています。

4月19日、「卵卵中野ファーム」で出発式が行われました。堆肥を積んだトラックに、「いってらっしゃい」と手を振り、職員らが見送りました。

J Aえひめフレッシュフーズ(株)大津社長は「かんきつ王国の一日も早い復興の役に立てれば」と話しています。



4月19日に行われた出発式

●第24回愛媛県子牛品評会

県知事賞に池田一成さんと山岡造さん

J A全農えひめ主催の「第24回愛媛県子牛品評会」が、4月18日、西予市の野村畜産総合振興センターで開かれました。優等賞（県知事賞）は、雌牛の部が池田一成さん（J Aえひめ南）の出品牛「なな」、去勢の部は山岡造さん（J A愛媛たいき）の出品牛「智春美」が受賞しました。

品評会には、県内7 J Aから生後1年未満の県内産黒毛和種89頭（雌牛の部46頭、去勢の部43頭）が出品されました。

品評会後に今年度第1回目の和子牛臨時市場が開催され、1頭あたりの平均価格（税込）は雌が前回2月の価格を9,026円上回る67万7,762円、去勢は前回は1万2,207円上回る77万2,489円で取引されました。1頭あたりの最高額（税込）は雌140万4,000円。

J A全農えひめ畜産部によると、2018年度に開いた臨時市場6回の実績は、取引頭数619頭で前年と比べて32頭増。1頭あたりの平均価格（税込）

は70万1,907円でした。

その他の入賞者は次の皆さん（カッコ内は J A 名）。

【雌牛の部】▽1等賞＝井関秀夫（ひがしうわ）、柳谷産業開発公社（松山市）

【去勢の部】▽1等賞＝越智章（周桑）、楠藤雄（ひがしうわ）



県知事賞を受賞した池田さんと「なな」

「えひめの食」企画「えひめの食『旬』事典」が「タウン情報まつやま」でスタート！

J A全農えひめ「えひめの食」企画の「えひめの食『旬』事典」（えひめ愛フード推進機構と共同提供）が、地方情報誌「タウン情報まつやま」6月号（2019年5月20日発売）からスタートしました。

誌面では、「愛」あるブランド産品を中心に、知っているようで知らなかった「えひめの食」の滋味にスゴイ！をご紹介します。「タウン情報まつやま」は、毎月20日発売です。ぜひ、毎月チェックしてみてください！

なお、発売日以降には、タウン情報まつやま公式アプリ「えひめのあぶり」にも掲載され、プレゼントの応募と、生産者に声を届けることができます。



「えひめの食」Instagramも
よろしくお願いします♪



えひめのあぶりの
ダウンロードはこちらから



6月号では河内遼一さん（J A愛媛たいき）が登場し「乾しいたけ」の魅力を紹介

●ファミリーマート・全農ふれっしゅ広場 3周年を記念して創業祭を開催！

J A全農えひめが東温市で運営する農産物直売所とコンビニの一体型店舗「ファミリーマート・全農ふれっしゅ広場」は、4月27日～4月30日の4日間、オープン3周年を記念して創業祭を開催しました。

期間中は、出荷者団体フレッシュ市部会による「うどんお接待」、「全農のお肉屋さん」による県内産ブランド肉の試食販売のほか、J Aえひめフレッシュフーズ(株)による「たまごつかみどり」、ガラポン抽選会など日替わりで多彩なイベントやお買い得企画を実施し、大勢の買い物客で賑わいました。

「ファミリーマート・全農ふれっしゅ広場」では、各種イベントを定期的 to 実施し、地域とのふれあい

や消費者との交流を深めるとともに、利便性の向上に努めています。直売コーナーの商品にもTポイントがつくことや日替わりサービス企画などのお得もいっぱいです。ぜひ皆さんもご来店ください。



イベント会場は大勢の人で賑わいました。

●第54回記念えひめ花まつり 花と緑いっぱいのイベント開催

5月3日・4日の2日間、花に親しんでもらい花の消費拡大につなげようと、東温市の愛媛県農林水産研究所農業研究部花き研究指導室で、第54回記念「えひめ花まつり」が開かれました。

会場では、花の展示やフラワーオークションなどが行われ大勢の来場者で賑わいました。また、5月4日には、東温市農村環境改善センターで第54回記念「えひめ花まつり花のコンクール」表彰式が行われ、J A全農えひめを通じて出品したデルフィニウムが中国四国農政局長賞を受賞した久保壽男さん(J A愛媛たいき)らが表彰されました。



受賞を喜ぶ久保さん



中国四国農政局長賞を受賞した久保さんのデルフィニウム

●「いよっくら」運営協力会総会 “いよっくらファン” 拡大を

J Aえひめアイパックス(株)ファーマーズマーケット「いよっくら」運営協力会は5月7日、ウエルピア伊予で令和元年度の総会を開きました。

令和元年度はお客様が求めている直売所をお客様目線で捉え、出荷会員と店舗が一体となりそのニーズに応えることで、地域での存在感をこれまで以上に高めていくことを確認しました。

オープン14周年を迎える今年は、「14周年感謝祭」「秋の収穫祭」をメインに様々なイベントや食農教育を実施していきます。また、テレビ番組への協賛

やホームページ、店舗に設置してあるサイネージなどを通じて、情報や魅力の発信、お客様との交流をさらに深めていきます。



「農の風景」を読んで。最近、ドライフルーツが流行っていますが、レモンやオレンジは見かけても、紅まどんは見たことがありませんでした。レモンは紅茶に入れたりして楽しんでいるのですが、紅まどんはどうやって食べるのでしょう。あ、商品写真に皮ごとポリポリ…と書かれていますね！

(今治市・加藤 仁美さん)

皮ごとポリポリももちろん美味しいのですが、私はレモンなんかと同様に紅茶に入れてみました。高級柑橘の風味にいつもの紅茶がちょっと贅沢な味になりました。ぜひお試しください♪

毎年、この時期になると「オレンジデー」と愛媛いよかん大使の時期ですね。だいお浸透してきたように感じます。昔やっていた直売所特集をぜひしてほしいです。

(今治市・越智 伸恭さん)

学校給食・食育講座のニュースを読んで。子どもたちには、できるだけ地元で採れた新鮮野菜、肉類を食べてほしいと思う。この食育活動を広げてほしい。そうすることで、人にも優しくでき、命の大切さが分かる子どもが育ってほしい。

(松山市・伊藤 光代さん)

エッセーを読んで。私は幸せなことにあまりストレスを感じるタイプではありませんが、ストレス解消の一つに、笑いのチカラの活用があることを知ったので、お笑い番組を見るなどして自分の生活のコントロールをしていけたら良いなと思いました。

(今治市・山本 美空さん)

今年もみかんジュースの販売が始まりましたね。つぶタイプのジュースが好きですが、「塩と夏みかん」が美味しいと聞きました。夏に飲んでみたいと思います。

(西条市・瀬川 憲子さん)

大人気ビアガーデンで J Aならではの新鮮野菜が楽しめます！



5/14に行われた
J A愛媛たいきの
「エコラプトマト」
試食宣伝の様子

「リジュール松山屋上ビアガーデン」では、J A愛媛野菜生産者組織協議会による試食宣伝を開催しています。県内J Aの新鮮野菜を堪能できます。

無くなり次第終了ですのでお早めにご来場ください。

◆期 間 5/9 (木)～9/28 (土) 17:30～21:00

〈定休日〉日曜日・8/15

◆上記イベント対象日：6/10 (月)・7/2 (火)・7/8 (月)・7/18 (木)・7/24 (水)・
8/1 (木)・8/6 (火)

◆ご予約・お問い合わせ：089-948-5631

詳細はホームページをチェック♪ <https://www.riziere.jp/>

編 集 後 記

「令和初」「令和初」ともう飽きるほど様々なところで見聞きしたと思いますが、本誌も「令和初」の発行となりました。さて、お祝いムード一色だった大型連休は皆さんどのように過ごされましたか。私は、ゆっくり過ごそうと思い、「まだ9日もある」「まだ3日」と悠長に構えていたら、すぐに連休は終わってしまい、気付けばもう目の前に夏が。5月で既に猛暑日を記録するという恐ろしいことが起こっていますが…、早めにしっかり対策して今年は夏バテにかからないようにしたいと思います。

(有紗)

今月の クイズ

平成31年3月、四国中央市に設置された新しい選果場の名称はなんというでしょう。

「愛媛〇〇〇〇広域選果場」

プレゼント

クイズに正解した方の中から抽選で、図書カード1,000円分を10名様にさしあげます。



応募方法

折り込みハガキにクイズの答えと本誌に対するご意見・感想などをお書き添えの上、ご郵送ください。

締切り

2019年7月15日 (当日消印有効)

発 表

「あぐり〜ど」8-9月号で発表します。

当選者発表

4-5月号の答えは「(第)43(回)」でした。たくさんのお便りありがとうございました。

厳正な抽選の結果、次の10人の方に図書カード1,000円分をお送りします。

長下 政恵さん (宇和島市)

岡 葉子さん (八幡浜市)

菊池しえみさん (八幡浜市)

米花佐智子さん (八幡浜市)

田岡 栄子さん (松山市)

高山 亜希さん (今治市)

玉井 陽子さん (西条市)

寺尾 智美さん (四国中央市)

深川 厚さん (四国中央市)

嶋津 幸子さん (青森県青森市)

NOW NOW

COOKING

今月の素材

ミニトマト



ミニだから、おやつから弁当まで④活用
ミニなのに、トマト以上の⑤栄養

▶(右側) ミニトマトとサワラのさっぱり蒸し、(左側) ミニトマトと豚バラのスタミナ炒め、(後) ミニトマトとサバ缶のささっと和え



指導/学校法人愛媛学園 (愛媛調理製菓専門学校) 大佐古 正子先生

ミニトマトとサバ缶のささっと和え

〈材料・4人分〉	※1人あたり約205kcal
ミニトマト	12個
サバ缶(水煮)	2缶(約360g)
① サバ缶の汁	大さじ2
② ポン酢	大さじ3
③ ゴマ油	小さじ1
大葉(千切り)	10枚
白ゴマ	小さじ1/2

〈作り方〉

- ① ボウルにサバと半分に切ったミニトマトと①を入れて、さっくり混ぜ合わせる。
- ② 器に盛りつけ、大葉と白ゴマを飾る。

ミニトマトと豚バラのスタミナ炒め

〈材料・4人分〉	※1人あたり約306kcal
ミニトマト	12個
豚バラ肉(スライス)	200g
片栗粉	大さじ1
カボチャ	120g
シシトウ	12本
ニンニク(スライス)	1カケ
サラダ油	適量
① 酒	大さじ3
② 塩	小さじ1/2
③ みりん	大さじ2
④ 薄口醤油	大さじ2
黒コショウ(粗挽き)	適量
糸唐辛子	適量

〈作り方〉

- ① ミニトマトは半分に切る。
- ② 豚バラ肉は3cm幅に切り、片栗粉をまぶす。
- ③ カボチャは拍子切りし、電子レンジにかける。
- ④ シシトウはヘタをとり、包丁で切り込みを入れる。
- ⑤ フライパンに油を熱し、②とニンニクを炒め、④を加えて炒め、③、①、④のタレをからめる。
- ⑥ 器に盛りつけ、黒コショウと糸唐辛子のをせる。

ミニトマトとサワラのさっぱり蒸し

〈材料・4人分〉	※1人あたり約196kcal
ミニトマト	12個
サワラ	4切れ
生ワカメ	80g
モヤシ	1袋
ニンニク(スライス)	1カケ
酒	大さじ4
塩・コショウ	適宜
レタス	4枚
レモン(輪切り)	4枚

〈作り方〉

- ① サワラは塩・コショウをふる。
- ② フライパンにサワラ、モヤシ、ワカメ、ミニトマト、ニンニクを入れて、酒と塩・コショウをふり、蓋をして中火で5分ほど蒸す。
- ③ サワラに火が通れば、ひと口大にちぎったレタスを加えて蒸す。
- ④ 器に盛りつけ、レモンを飾る。

えひめ逸品柑橘
夏限定
愛媛
かわちばんかん
河内晩柑
サイダー

柑橘王国「愛媛」の隠れた逸品をお届け

「河内晩柑」は品種が発見された熊本県にある河内町の「河内」と、遅い時期に採れる柑橘類の総称「晩柑」から名付けられました。爽やかな香りと味わいが特徴の河内晩柑果汁炭酸をお楽しみください。

株式会社 えひめ飲料

〒791-8603 松山市安城寺町478番地
TEL: 089-923-1500 FAX: 089-924-0304

<https://www.ehime-inryo.co.jp>
(通販専用) <https://www.pom-j.com>

レッツ、チャレンジ！



愛媛みかん大使募集

2019 The 61st Ehime Mikan Ambassador Since 1959

募集期間 令和元年 6月10日(月)～7月10日(水) 賞品 愛媛みかん大使(4名)全員に… 賞金20万円

応募方法 下記応募先に 応募用紙 または、履歴書を郵送！ JA全農えひめホームページから直接応募！ スマートフォンはこちらから▶

応募先およびお問い合わせ／〒790-8555 松山市南堀端町2番地3 JA全農えひめ 果実課「2019 愛媛みかん大使募集係」 Tel.089-948-5482 Fax.089-948-5779 <http://www.eh.zennoh.or.jp> みかん大使募集 検索

主催／JA全農えひめ ※個人情報、愛媛みかん大使事務局にて適切に管理し、選考(発表を含む)並びに記念品等の発送に利用させていただきます。

あなたの人生で支えられた1曲を
リクエストしてください
link@joeufm.com

JA全農えひめPresents
Support
Music

JA全農えひめ協賛FMラジオコーナー
FM愛媛
毎週月曜日「Groovy Radio Caravan」内
14時10分頃～(5分間)



ehimenosyoku

「えひめの食」Instagram
Follow Me!



あぐり～どはWEBでも読めます
<http://www.eh.zennoh.or.jp>

2019
6-7月号

No.1004

発行／全農愛媛県本部 〒790-8555
編集部／総務課(089)948-5323

松山市南堀端町2番地3
印刷／コープ印刷(株)

編集人／中矢 琢

VOC
FREE

VOC(揮発性有機化合物)成分フリーの
インキを使用して印刷しました。

UD
FONT